



じ

事 れい ちいき なか 例18 地域の中で

わたし こ はったつしよう 私の子どもには発達障がいのひとつであるADHD(注意欠陥多動性障がい)があります。じっとしていることが苦手で、衝動的に体が動いてしまうため、友達とトラブルになることもあります。周りの人から「親のしつけが悪いからトラブルばかり起こすのではないか」と言われることが多く辛いです。

こ はいりょ ねが んな配慮をお願いします

はったつしよう う のうきのう しょう 発達障がいは、生まれながらの脳機能の障がいによるものです。発達障がいのある人は、たいじんかんけい きず にがて ひと コミュニケーションをとったり、対人関係を築くことが苦手な人もいるため、「困った人」と誤解されることがあります。子どもの場合は、しつけや教育の問題だと思われがちですが、のうきのう しょう かてい とう もんだい しょう 脳機能の障がいであり、家庭でのしつけ等の問題で生じるものではありません。
ほんにん きげん こうい ほか ひと めいわく 本人が危険な行為や他の人の迷惑になるようなことをしている場合は、「騒ぐな」ではなく「静かにしましょう」などと肯定的な言葉で具体的に伝えるようにしましょう。

じ

事 れい しょくば 例19 職場で

わたし はったつしよう じぶん 私には発達障がいがあります。自分ではきちんとやっているつもりですが、周囲から「空気が読めない」、「融通がきかない」と言われます。仕事上のミスも多く、度々怒られます。

こ はいりょ ねが んな配慮をお願いします

はったつしよう ひと かお ひょうじょう あいて きも すいそく こうどう 発達障がいのある人は、顔の表情などから相手の気持ちを推測して行動することが難しい場合があります。また、話の流れに関係なく、自分の興味のある話題を一方的に話してしまうなど、コミュニケーションをとるうえでの困難さを抱えています。

しゅうい ひと ぐたいてき いま じょうきょう 周囲の人は、できるだけ具体的に「今はこういう状況なので、こうしてください。」と伝えるようにしてください。あいまいな表現では分からぬことがあります。

また、たくさんの指示が同時にあるときに、優先順をつけて取り組むことが難しかったり、一つのことに集中し過ぎて、他のことが見えなくなってしまうことがあります。

ほんにん しごと たの しじ だ ばあい と く てじゅん じかん ぐたいてき 本人に仕事を頼んだり指示を出す場合は、取り組む手順や時間などを具体的にメモで渡すなどの配慮があるとスムーズに取り組むことができます。

はったつしよう ひと ひつよう はいりょ しかた ちが 発達障がいのある人それぞれで必要な配慮の仕方が違うため、その人に合ったかた ほんにん いっしょ そうだん き やり方を本人と一緒に相談しながら決めていくようにしましょう。

